

ねらい

幼稚園の生活において、一人一人の幼児が発達に必要な経験を得られるようになるためには、教師が幼児の発達の特性や生活の流れなどに即して、幼児のかかわる環境を構成し、適切な援助をしていくことが大切です。そのために、一人一人の幼児の行動と内面を理解し、教師としての専門性を磨き資質の向上を図るため、様々な観点から研修を進めています。

現 状

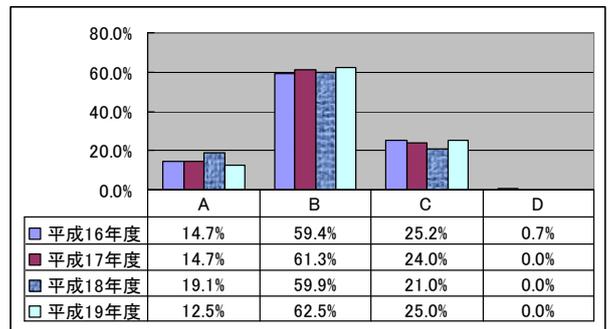
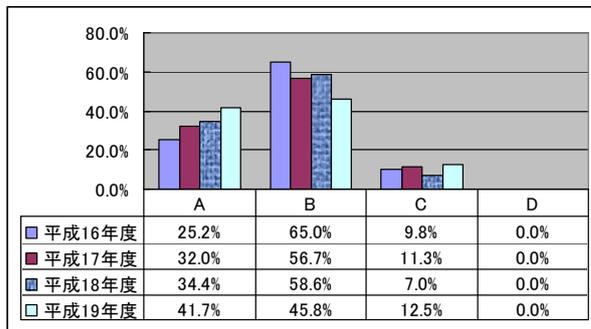
○ 研修の内容・組織・運営

- ・ 園内における研修では、教師同士が互いの保育を参観し合ったり、ビデオの活用や課題を絞った実践交流を行ったりして、研修の充実に向け、工夫を図っています。
- ・ 公開保育、指導主事訪問、他園の教員と実践記録を持ち寄っての研究協議など、外部と連携して行う研修にも積極的に取り組んでいます。
- ・ 保育園・小学校・中学校・地域との連携を進めています。
- ・ 自己評価の機会を持ち、保育の改善を図るなど、自己研鑽による教員の資質向上に生かしています。

○ 自校の研修に関する園の反省

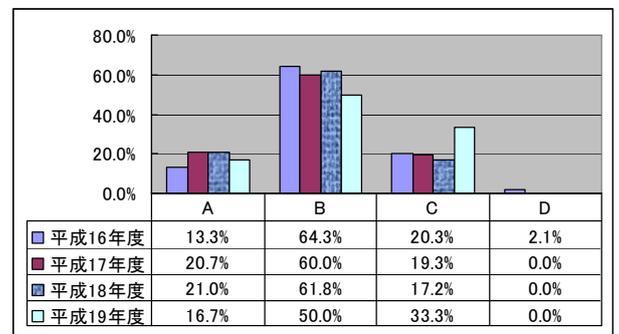
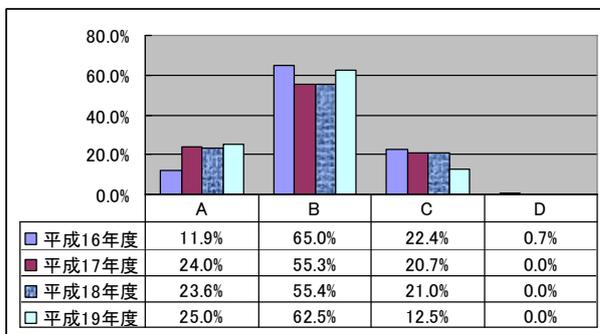
Q 学び合う教職員集団づくりができたか。

Q 計画的・継続的な研修が実施できたか。



Q 教育力向上のため保育公開ができたか。

Q 研修の工夫・改善がされたか。



【 「A」：十分 「B」：おおむね十分 「C」：やや不十分 「D」：不十分 】

※ アンケートの対象は、これまでは各教職員でしたが、平成19年度からは各園対象に実施したものです。

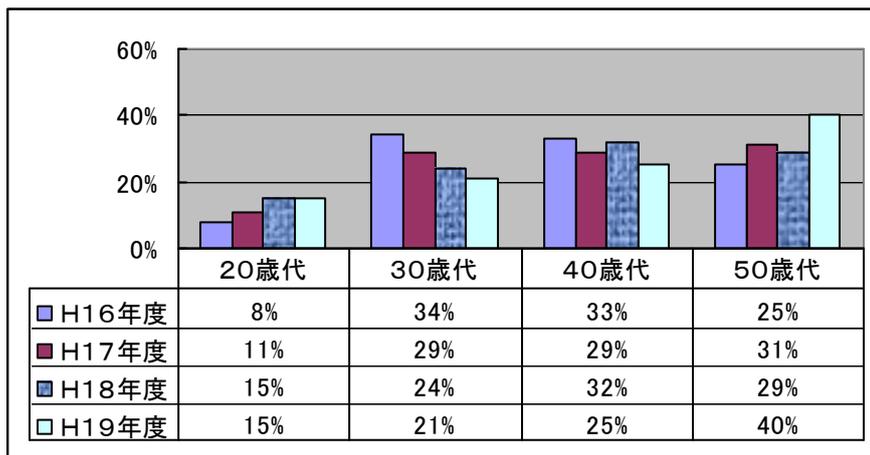
- ・ 計画的・継続的な研修及び、研修の工夫・改善では、やや不十分とする園が、昨年度にくらべて増加しており、今後の課題といえます。

＜平成19年度幼稚園研究主題一覧＞

番号	園名	研究主題	領域
1	四日市幼	身近な人や環境とのかかわりを通して豊かな心と健康な体を育てる	健康（1年次）
2	橋北幼	友だちや身近な人とかかわりを通して、生きる力の基礎を培う ～異年齢交流の充実を図り、人とかかわる力を育てる～	全領域（1年次）
3	富田幼	いろいろな人と接する中で、人と関わる楽しさや喜びを知るための援助を考える	全領域（4年次）
4	海蔵幼	体験を重視し、意欲的な生活をするための食育及び戸外活動に重点をおいた教育課程の編成	全領域（2年次）
5	納屋幼	幼児自ら意欲的に遊ぶ中で、健康な体と豊かな心を育てる ～異年齢交流を通して～	全領域（2年次）
6	泊山幼	友だちとかかわりの中で、自分らしさを出しながら意欲的に遊びことりくむには ～教育課程の再編成～	全領域（6年次）
7	内部幼	身近な人や友だちとのふれあいを通して、互いに認め合える関係を育てるための援助のあり方を探る	全領域（3年次）
8	川島幼	身近な環境の中で、友だちと意欲的に遊び、人とかかわる力を育てる ～絵本を媒介とした活動をおして～	全領域（3年次）
9	神前幼	生き生きと遊ぶ中で、お互いを認める人間関係を築いていくには ～戸外活動・園外保育を通して～	全領域（2年次）
10	三重幼	友だちや身近な人とかかわりを通して、一人一人が自分らしさを発揮し、健康な心と体を育てる	全領域（2年次）
11	保々幼	友だちとかかわりの中で遊ぶ楽しさを知り、夢中になって遊び込める心と体を育てる	全領域（4年次）
12	下野幼	幼児自らが意欲的に遊びに取り組み、豊かな人間関係を育む中で、健康な心と体を育てる	健康（7年次）
13	羽津幼	自分で考え、行動できる子どもを育てるための援助や環境構成のあり方を探る ～戸外活動を通して～	全領域（1年次）
14	富洲原幼	心と体をほぐし、人とかかわりを深める遊びとは	全領域（2年次）
15	高花平幼	幼児が健康に生活できるための援助のあり方を探る	健康（4年次）
16	大矢知幼	身近な人と触れ合う体験を通して、自分でやろうとする意欲や、道徳性の芽生えを育む	人間関係（4年次）
17	八郷中央幼	周りの環境とかかわる中で、豊かな心を持ち自ら意欲を持って生活する力を育てる ～育てて、作って、食べて、元気な体を作ろう～	健康（1年次）
18	桜幼	健康な体と豊かな心を持ち、互いに認め合える仲間づくりをすすめる	全領域（1年次）
19	常磐中央幼	幼児自らが意欲的に遊ぶ中で、十分にコミュニケーションをとり、健康な心と体を育てる	全領域（3年次）
20	塩浜幼	いろいろな人やものとかかわりを通して、意欲的に遊びに取り組み、人とかかわる力や創意工夫する力を育てる	全領域（3年次）
21	笹川中央幼	友だちとかかわりの中で楽しさや喜びを感じ、つながりを深めていくには、どうすればいいか	全領域（2年次）
22	三重西幼	健康な体と豊かな心を育てる	健康（2年次）
23	楠北幼	遊びを見る、遊びを創る、遊びから学ぶ	全領域（2年次）
24	楠南幼	人とかかわりながら、遊びを楽しみ共に育むには	全領域（1年次）

- ・ 幼稚園においては、幼児の遊びや体験を通じた総合的な指導を行っているため、「全領域」となっている園が多くなっています。（幼稚園での領域とは発達側面から5領域、「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」に分けられています。）
- ・ 身近な人や環境とかかわりを重視した園が多く、友だちとかかわりを通して、生きる力の基礎の育成に向けた研修が進められています。
- ・ 健康な心と体を育てることや食育を主題にした園も増えています。

○ 教員（園長・教諭）の年齢別構成割合



- ・ 年齢別構成は、30歳代・40歳代の占める割合が、減少しています。

○ 指導課・人権同和教育課への要請訪問数（平成16年度～19年度）

<指導課>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成16年度	0	9	23	11	3	6	14	11	8	8	4	0	97
平成17年度	0	8	25	6	3	3	13	10	14	1	2	0	85
平成18年度	3	9	22	7	1	6	14	14	4	1	7	0	88
平成19年度	0	20	21	5	0	2	10	12	7	7	5	0	89

（四日市市障害のある子どもの保育研修会の専門委員会の業務における派遣回数を含む）

- ・ 幼稚園では積極的に保育公開に取り組んでおり、毎年、各園2～3回程度要請訪問を実施しています。

<人権・同和教育課>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成16年度	2	6	8	8	0	0	3	9	3	4	1	0	44
平成17年度	0	2	9	6	0	0	5	7	6	4	6	1	46
平成18年度	2	8	6	6	1	0	2	6	2	5	2	0	40
平成19年度	0	5	6	8	0	0	6	9	3	5	3	0	45

課題（今後の方向）

- 職員全員で研修を進めていく体制や研修の工夫・改善に努めています。しかし、園づくりビジョン達成に向けた計画的・継続的な研修を進めるため、研修時間の確保や研修会の持ち方など、運営面について一層の見直しを図る必要があります。
- 保育公開など研修会の持ち方を工夫し、保育園・小学校・中学校・地域との連携をさらに進めていきます。また、自己評価（保護者アンケートの結果も考慮する）を積極的に行い、保育内容の見直しや改善を図り、資質向上に努めます。
- 専門性を高めるため、実践を記録し、この記録を基にして幼児理解や指導方法の改善につながる研修を深めます。